

明石川の災害対応

ハードとソフトの両面から市民を守る

県と市が一丸となり治水対策

問 明石川の災害時の対応について、県と市の役割を聞く。

答 県は、総合治水を推進し、市内各河川を対象に、平成27年策定の神明地域総合治水推進計画において、河川管理者である県と市の役割を定めている。

県の役割は、河川堤防の改修や土砂の撤去等の維持管理に加



明石川の氾濫を防ぐ

え、現地に水位標や監視カメラを設置するなどである。市の役割は、集中豪

雨により河川の水位が上昇し、水防体制をとった場合、河川内に設置した緑地や遊歩道に利用者がいないか確認し、河川に設置したスロープや階段の閉鎖を行うほか、河川に氾濫の危険がある場合は、流域の市民に避難情報を発令し、命を守る行動を促すことである。

今後も、市民を守るため、県と市が一丸となり、ハード・ソフトの両面から治水対策に取り組んでいく。

長引くコロナ禍

相談件数は5倍以上増加
生活困窮者への支援は

問 生活困窮者への支援の現状を聞く。

答 生活再建支援担当窓口への相談件数が昨年

マイナンバーカードの交付促進

申請しやすい環境づくりと

取得メリットの広報を

問 マイナンバーカードの交付促進の取り組みについて聞く。

答 本市では、交付スタッフを増員し、夜間や休日利用できる臨時交付窓口の設置、商業施設などで申請用写真の無料撮影や申請書類の記入を手伝う出張申請を実施し、交付と申請機会の拡大を図っている。なお、令和4年8月末時点の交付率は、45.2%で、13万7706件である。

施設入所や長期入院などの事情により本人申請が困難な人には、施設での出張申請を行うなど、要望に応じたサポートを実

施していく。今後も申請しやすい環境づくりに取り組むとともに、若年層への啓発が課題であるため、10月からはマイナンバーカードを利用した住民票などのコンビニ交付が始まることなど取得するメリットを提示し、申請の増加につな



申請者の増加を目指す

度はコロナ拡大前の5倍以上に増加し、生活保護の相談も、今年度はコロナ拡大前の同時期と比べ3割以上増加している。

このような状況の中、離職・失職者に家賃相当額を支給する「住居確保給付金」や、社会福祉協議会による貸し付けが上限に達した人に最大10万円を3カ月支給する「新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金」、住民税非課税世帯や新型コロナウイルス感染症の影響で家計が急変した世帯を対象にした臨時特別給付金を迅速に支給してきた。

これらの活用や、本市独自の支援策も20あり、生活保護世帯の急増は避けられている。今後も経済的な課題だけでなく、相談者が抱えるさまざまな生活の課題や不安に寄り添って支援していく。

教育委員会委員

任命に同意

教育委員会委員の任期満了となる川本まり子氏(66歳・明石市)を引き続き任命することに同意しました。同氏は、明石保育協会会長などを歴任、教育委員会委員には平成22年から就任し、今回で4期目です。

なお、本市の教育委員会委員は4人で任期は4年です。

市民の幸せな暮らしを目指す

文教厚生 常任委員長に聞く

【担当分野】 教育や福祉、介護保険、子育て支援・子どもの健全育成、保健衛生などを支える分野を審査します。



井 藤 圭 順
【議会歴】 在職1期。生活文化常任副委員長、文教厚生常任委員などを歴任。51歳。

重点的に取り組む事項
新型コロナウイルスについて、10月からオミクロン株にも対応したワクチンの接種を開始しています。さらに、季節性インフルエンザの流行に備え、今年度も65歳以上の人の接種費用を無料にします。また、こどもを核としたまちづくりを進める本市は、福祉教育の充実に向け、市立明石商業高校に福祉科を創設するなど、子どもの

学習環境整備を行っています。保育所の待機児童については、今年4月時点で100人まで減少した一方、年齢によっては定員割れが生じていることから、バランスの取れた対策が必要と考えています。
委員長として一言
赤ちゃんから高齢者までを対象とする委員会として、しっかりと審査を行い、市民の皆さまが幸せに暮らせるように尽力します。

やさしいまちづくりを進める

総務 常任委員長に聞く

【担当分野】 市政の総合企画や広報、財政・市税、消防など、総務・財務部門や市民の安全に関わる分野を審査します。



よ 吉 田 秀 夫
【議会歴】 在職1期。議会運営副委員長、総務常任副委員長などを歴任。63歳。

重点的に取り組む事項
今年度からスタートしたあかしSDGs推進計画を推進していきます。この計画は「いつまでもみんなを支え合う」というSDGsの理念を取り入れ、本市が進めてきた「やさしいまちづくり」をさらに前進させるものです。具体的には、インクルーシブやLGBTQ+をはじめ、重要な課題であるジェンダー平等に係る取り組みを

総合的かつ効率的に推進していきます。
また、市役所新庁舎の建設や西明石活性化の取り組みについても議論を重ねていきます。
委員長として一言
新たな計画のもと、みんなで支え合い、助け合える、誰にとっても暮らしやすいまちを市民の皆さまと一緒に作っていきけるよう一杯取り組んでいきます。